

中学校給食残菜量調査結果

		平成27年 2月2日(月)		2月3日(火)		2月4日(水)		2月5日(木)		2月6日(金)		合計		
		給食	牛乳	給食	牛乳	給食	牛乳	給食	牛乳	給食	牛乳	給食	牛乳	総合計
合計	提供量	1749.44	623.20	1954.26	662.00	2207.21	721.40	1896.50	619.60	2198.88	677.00	10006.29	3303.20	13309.49
	残量	149.44	97.32	188.68	88.59	142.66	94.08	108.42	76.52	146.10	82.50	735.30	439.01	1174.31
	残食率	8.54%	15.62%	9.65%	13.38%	6.46%	13.04%	5.72%	12.35%	6.64%	12.19%	7.35%	13.29%	8.82%

- 受験、体調不良等による欠席者が多い週であった。
- 冬なので、牛乳の残が増えていいる。夏であれば、もっと牛乳の残菜は減る。

☆食事(牛乳以外)の残菜量を減らすために行っている工夫

- ・給食時間の校内放送で呼びかける。
- ・給食委員会でポスター等を作成し呼びかける
- ・給食日よりや昼食時の配布チラシで、栄養や中学生の食事について指導している。
- ・食材に含まれる栄養の効果について、食育放送で全生徒へお知らせする。また、放送の中で、教員がその食材にまつわる思いなどを伝え、より親しみのある食材となるように呼びかけている。
- ・薄味のものとはっきりさせたものとメニューによってメリハリをつけた味付けをしている。
- ・男女関係なくおかわりができるような雰囲気作りをしている。
- ・栄養士が調理室の様子や栄養について話をしたりしている。

☆牛乳の残菜量を減らすために行っている工夫

- ・給食時間の校内放送で呼びかける。
- ・給食委員会でポスター等を作成し呼びかける
- ・クラスごとの残乳調査をし、しっかり飲んでいるクラスを紹介する。
- ・配膳室前に残乳表を貼り、学校全体の日々の残乳と月ごとの表を使って、一人一人の意識を改善してもらえるようにしている。また、返却の際、栄養士だけでなく、給食配膳員も生徒に話しかけ、よく飲んできたり、返却の仕方が丁寧だったり良い時にほめるようにし、生徒の意識を教職員で盛り上げている。
- ・前日の残量を昼食のチラシに掲示する
- ・担任への声掛けをする。
- ・保健給食委員の生徒により、牛乳の効果を伝える。
- ・学年ごとに牛乳月間をつくり、残ゼロをめざし、クラスごとの残量を競うなどの対応をしている。
- ・未開封での返却が多いので、その状況について、4月に先生方や生徒に知らせた
- ・配布物、掲示板での牛乳の興味を惹かせる、季節に合わせて適温での供給を心がける、声掛けを行う。